

## 【5】金比良地区福祉対策推進協議会の紹介

### どのような団体？

福祉対策推進協議会（略称：福対協）は、地域住民の身近な困りごとを把握し、その解決に向けて住民参加による活動に取り組み、より住みやすい地域づくりを進めるという役割を担った組織です。

金比良地区福対協は、昭和53年に設立され、各団体のメンバーを中心に、住民の皆さんと一緒にさまざまな活動に取り組んでいます。

### どのような人たちがメンバー？

民生委員児童委員、公民館、老人クラブ、婦人部、小・中学校など、幅広い団体の代表で構成されています。

### 主な活動は？

福対協では、地域が抱えている福祉問題や住民のニーズにあった活動に取り組んでいます。ここでは、主な活動を紹介します。

#### ふれあいネットワーク

ひとり暮らし高齢者などが、地域で安心して暮らせるように、隣近所の方をはじめとした地域住民が中心となり、安否確認や話し相手などのために定期的に訪問しています。

#### 食事サービスボランティア

金比良地区には、2つの食事サービスグループ（上金比良町婦人部・御船町二組すみれ会）があり、ひとり暮らしの高齢者などを対象に食事サービスを行っています。

公民館などでの会食や自宅までの配食などによって、高齢者の地域での生活を支援しています。

#### その他にも…

三世代交流としての、鬼火だき、七夕祭り、餅つきや、構成員による研修（講師を招へい）を開催しています。

また、新入学児へのお祝い、金比良っ子教室での講話、見守り活動など、学校行事にも積極的に参加しています。

「子育て井戸端会議」は13年の月日を重ね、委員各々の立場で、明るい福祉のまちづくりの交流の輪を広げ、活動しています。



これからも、地域の様々な団体が共に連携を深め、一緒に活動していくことでさらに充実した活動につながるはずです。

地域で活動されている団体の情報がありましたら、ぜひお知らせください。

## 【6】金比良地区「地域福祉“お茶の間トーク”」

### “お茶の間トーク”ってなに？

もっと住みやすい金比良地区のまちにするために、金比良地区の人々が、2回にわたっているいろいろなことを話し合ったのが“お茶の間トーク”です。

参加者の皆さんがグループに分かれて、模造紙や付せん紙を使いながら、誰でも平等・自由に意見を出し合う「ワークショップ」という方法で行われました。

クイズやゲームなどを交えて楽しみながら、大人も子どもも一緒に、まちの中の問題やその解決方法を考えることで、参加者の皆さんの交流にもなりました。

### 第1回

テーマ：地域のことを見つめ直そう！

～ 地域について考えるきっかけづくり ～

日程：平成18年7月15日（土）

内容：●お茶の間クイズ

●地域マップづくり

●地域の“よかところ”・“気になるところ”探し



まずは金比良地区にちなんだクイズや、大きな地図の中から学校や施設を探すマップづくりに、グループごとに協力して取り組み、コミュニケーションを深めました。

緊張もほぐれたところで、参加者それぞれが思う金比良地区の“よかところ”と“気になるところ”を出し合いました。

参加した皆さんにとっては、お互いに同じ悩みを持っていたり、知らなかったことを再発見するいい機会になったようです。

※下のような意見が多く出されました。



#### 【よかところ】

- 景色が美しい（弓張岳など）
- 市街中心地に近く買い物などに便利
- 町内のまとまりが強く、協力的

#### 【気になるところ】

- お店が少なく、日常の買い物に不便
- 坂や階段が多く、移動が不便
- 子どもや若い人が少なく、将来が不安

### 皆さんも“お茶の間クイズ”に挑戦してみましょう！

**問1** 出光興産が船主の「日章丸」、S S K（佐世保重工）で昭和37年に造られたものは何代目の船でしょうか？（当時、世界最大規模のタンカーということで話題になりました。）

①一代目 ②二代目 ③三代目

**問2** 金比良地区の高齢化率はどれくらいでしょうか？（平成18年6月現在）

①約23% ②約26% ③約29%

**問3** 今から30年以上前の昭和46年、金比良地区の学校には何人の小学生・中学生がいたでしょうか？（当時、金比良地区には、琴平小学校と御船小学校がありました。）

①1,260人 ②1,661人 ③2,538人

※答えはP8の下にあります。



## 第2回

テーマ：地域みんなにできることを探そう！

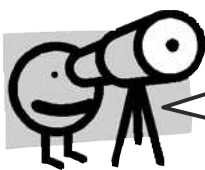
～ 小さなことでも地域のために ～

日程：平成18年8月5日（土）

内容：●グループ対抗発想ゲーム

●気になり具合診断

●みんなにできることを探そう



第2回も、まずはゲームなどで交流した後、前回出された“気になるところ”の中から、皆さんの関心が高い問題を選びました。

さらに、その“気になるところ”を解決するために、「地域みんなにできることはないのか」が話し合われました。

グループごとにいろいろな世代の方から、自由に、そして熱心に意見が出されていました。

※出された意見の中からいくつかご紹介します。

### 【問題】

ひとり暮らし高齢者や  
高齢者世帯が多い



### 【“みんなにできること”の意見】

- みんなで声をかけたり、時々家を訪ねたりする
- 町内の人たちと仲良くして、昔みたいに声かけをする
- 昔みたいに井戸端会議をする

## 参加した皆さんの感想から

◎難しく考えず、地域の一人ひとりが自覚して社会性を持って活動することが大切だと思います。

◎問題解決のために地域みんなが集まり、幅広い年代の方が話し合いをするのはとてもいいことだと思いました。

“お茶の間トーク”のねらいはこういうところにもあります。

**金比良地区の皆さん一人ひとりが、地域を良くしたいという気持ちを持ち、“できること”を考え取り組むことが大切なのです。**



◎ この「お茶の間トーク」での意見を基に、福対協が中心となってまとめた、次のページからの**“みんなの力でできること”**をぜひ実行していきましょう！